USB ストレージ編

ファイルサーバの設定

USB ストレージデバイスを使用した利用例

本製品はUSB ストレージデバイスを接続することで、ファイルサーバとして使用できます。また、接続したUSB ストレージデバイスをWEB サーバとしてインターネットに公開できます。
ここでは本製品にUSB ストレージデバイスを接続して使用する方法について説明します。

本製品のファイルサーバ機能は、Windows 搭載のコンピュータでのみ利用できます。

USB ストレージデバイスを使用する

本製品にUSB ストレージデバイスを接続するとファイルサーバとして機能します。
USB ストレージデバイスを利用するための概要をまとめます。

設定手順

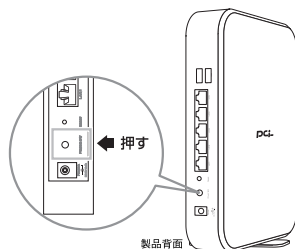
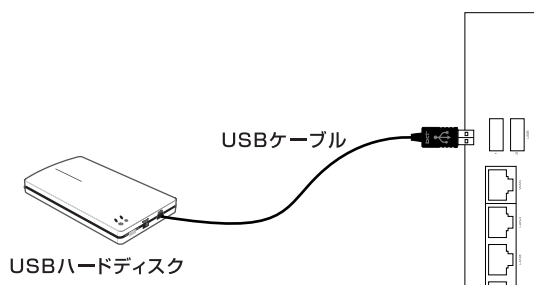
1. 本製品にUSB ストレージデバイスを接続します。

2. USB ストレージデバイスのパーティションを作成し、フォーマットします。

3. ワークグループの設定をします。

4. ユーザーアカウントの作成をします。

BRC-14VG への USB ストレージデバイスの取り付け

1 本製品背面の電源スイッチを押し、電源を切ります。USB ストレージデバイスの電源は切れていることを確認します。

2 USB ストレージデバイスを本製品に接続します。USB ストレージデバイスに付属の USB ケーブルを使用して、本製品の USB ポートにハードディスクを接続します。

3 USB ストレージデバイスの電源を入れます。

! ご注意

本製品は USB ストレージデバイスのバスパワー動作はサポートしておりません。USB ストレージデバイスの付属 AC アダプタを使用してセルフパワーで動作させてください。

4 本製品の電源を入れてください。

次に本製品から USB ストレージデバイスのパーティションの設定を行います。

パーティションの作成とフォーマット

USB ストレージデバイスを接続したら、パーティションの作成とフォーマットを行う必要があります。ここではパーティションの作成とフォーマットの手順を説明します。

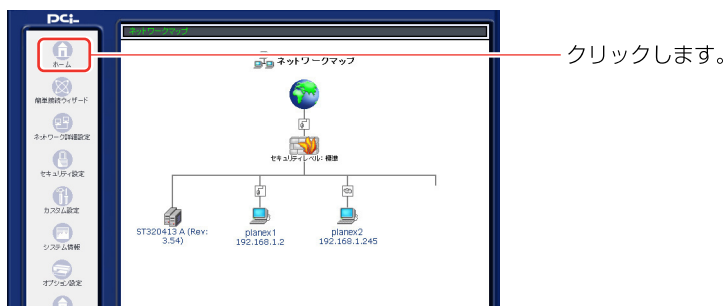
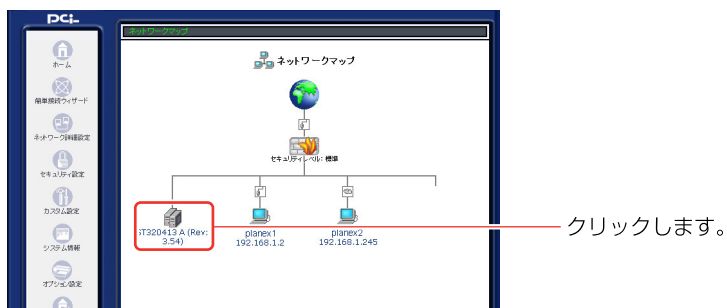
■パーティションの種類

パーティションの種類には「プライマリパーティション」、「拡張パーティション」、「論理パーティション」があります。
「プライマリパーティション」は、１つのハードディスクに最大４個まで作成可能です。ただし「拡張パーティション」を作成するときは、「プライマリパーティション」は３個までとなります。「拡張パーティション」はそれ自体ではドライブとして認識されません。ただし「拡張パーティション」内に「論理ドライブ」を複数作成することができます。（作成できる論理ドライブ数は最大 11 個までです。）

ご注意

- 本製品のフォーマット形式で EXT2 を選択するときは、パーティションサイズを 137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB 以上のパーティションをご利用のときは、FAT32 形式のフォーマットをご使用ください。
- ドライブ文字は USB ストレージデバイスをマウント時（接続したまま本製品を再起動したときも含む）に自動的に基本領域、拡張領域の順に割り当てられます。そのため、基本領域で割り当てられたドライブ番号（A,B など）を先に削除したときや、先頭または途中にある未使用領域にドライブを割り当てたとき、ドライブ文字が入れ替わることがあります。領域を削除するときは最後の領域から削除するようにして下さい。
- 12 個以上の論理パーティションがある USB ストレージデバイスを接続したとき、12 個目以降の論理パーティションをファイルサーバ機能で使用することはできません。

パーティションの作成

1　サイドバーから［ホーム］アイコンをクリックします。

2　接続されたデバイスが［ネットワークマップ］画面に表示されます。デバイスのアイコンをクリックします。

3 ［ディスク情報］画面が表示されます。［パーティション］欄に接続されているハードディスクのパーティション情報が表示されます。

ご注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

4　[パーティション] 欄には以下の情報が表示されます。

■共有名

ネットワーク上で表示される共有ドライブ名です。共有名は本製品のホスト名とパーティション作成時に割り当てられたドライブ文字から自動的に作成されます。

■タイプ

パーティションのフォーマット形式です。Windows FAT、FAT32、またはLinuxのいずれかが表示されます。なお、FATに関しては、本製品からのフォーマットを行うことはできません。

■ステータス

パーティションの現在の状態が表示されます。フォーマット中はフォーマット状況が表示されます。[使用可] と表示されているパーティションがアクセス可能です。

■容量

パーティションに割り当てられている容量です。

■空き容量

パーティションの空き容量です。[容量] から [空き容量] を引いた分がパーティションの使用されている容量です。

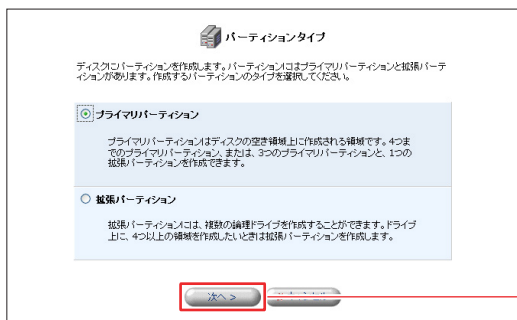
■操作

パーティションの操作を行います。

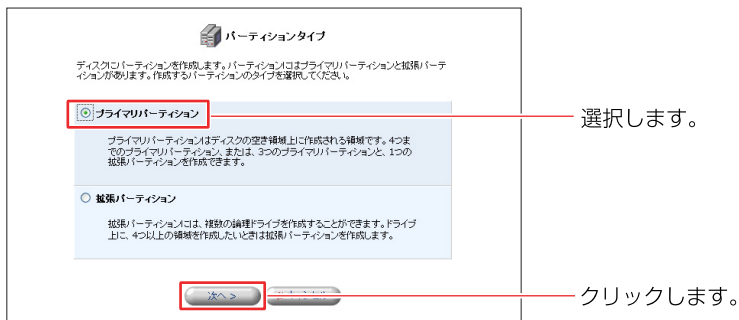
! ご注意

[共有名] に [未使用の領域] と表示されている部分はパーティションが作成されていないハードディスク領域です。

5 ［未使用の領域］欄から［追加］ボタンをクリックします。

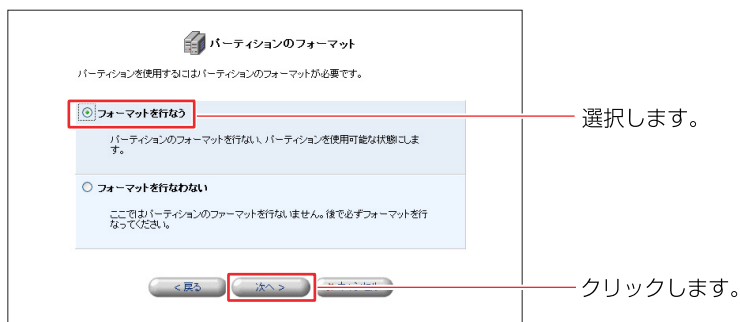
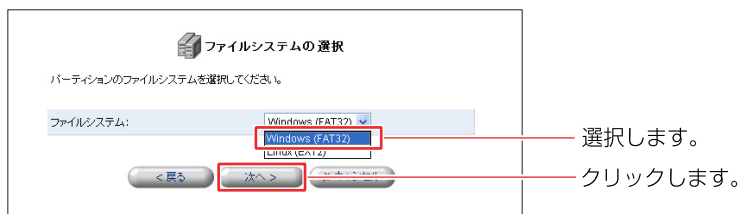
6 ［パーティションタイプ］画面が表示されます。作成するパーティションタイプを選択して［次へ］ボタンをクリックします。

［プライマリパーティション］を選択したときは、［プライマリパーティションの作成］に進みます。［拡張パーティション］を選択したときは［拡張パーティションと論理パーティションの作成］に進みます。

プライマリパーティションの作成

1 ［パーティションタイプ］画面で［プライマリパーティション］を選び［次へ］ボタンをクリックします。

2 ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ～最大サイズの範囲で設定できます。

ご注意

本商品は1GB=1024MBで計算します。

3 ［パーティションのフォーマット］画面が表示されます。［フォーマットを行う］を選び ［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルシステムの選択］画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選び［次へ］ボタンをクリックします。

! ご注意

本商品のフォーマット方法でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式のフォーマットをご使用ください。

5 ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

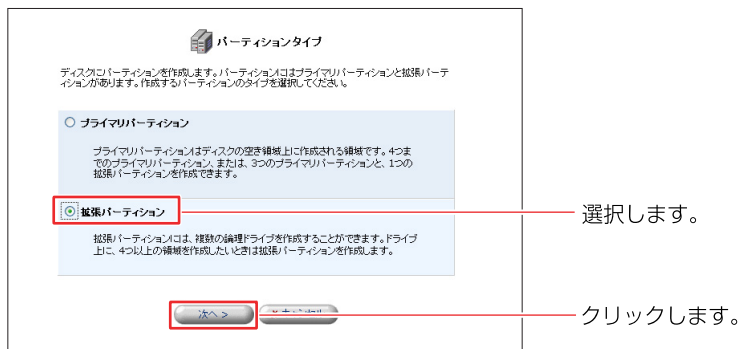
6 パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成したパーティションの［ステータス］が［フォーマット中...］と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。［ステータス］が［使用可］になるまでお待ちください。

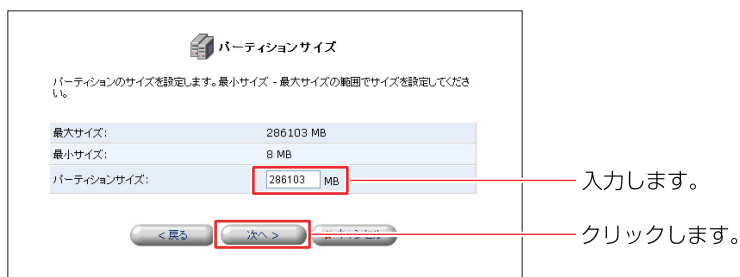
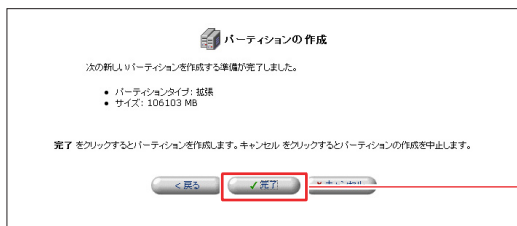
ご注意

［ステータス］が「フォーマット中...」のまま変わらないときは、しばらく待ってから［表示の更新］ボタンを押してください。

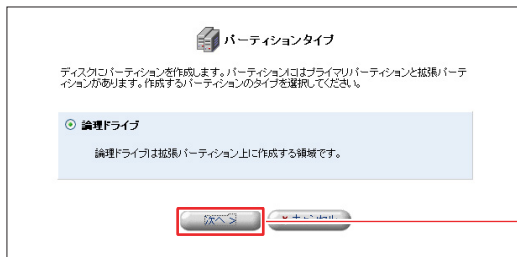
7 ［未使用の領域］が残っている場合は、同様の手順でさらに追加のパーティションを作成する事ができます。

拡張パーティションと論理パーティションの作成

1 ［パーティションタイプ］画面で［拡張パーティション］を選び［次へ］ボタンをクリックします。

2 ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ〜最大サイズの範囲で設定できます。

ご注意

本商品は 1GB=1024MB で計算します。

3 ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

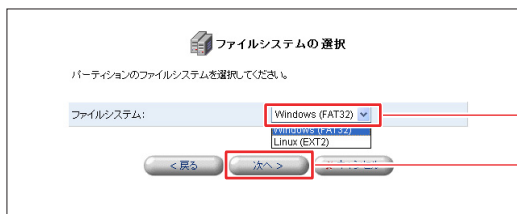
4 パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成された［拡張パーティション］の［未使用の領域］欄から［追加］ボタンをクリックします。

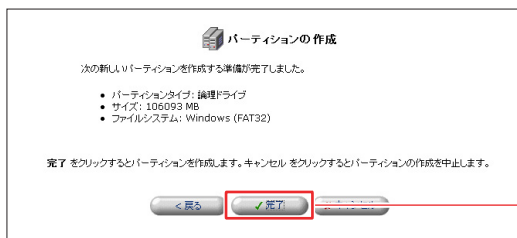
5 ［パーティションタイプ］画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ～最大サイズの範囲で設定できます。

ご注意

本商品は1GB=1024MBで計算します。

7 ［パーティションのフォーマット］画面が表示されます。［フォーマットを行う］を選び［次へ］ボタンをクリックします。

8 ［ファイルシステムの選択］画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選び［次へ］ボタンをクリックします。

ご注意

本製品のフォーマット形式でEXT2を選択するときは、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式のフォーマットをご使用ください。

9 ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

10 パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成したパーティションの［ステータス］が［フォーマット中...］と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。［ステータス］が［使用可］になるまでお待ちください。

ご注意

［ステータス］が「フォーマット中...」のまま変わらないときは、しばらく待ってから［表示の更新］ボタンを押してください。

11 ［拡張パーティション］の［未使用の領域］が残っている場合は、同様の手順でさらに追加の論理パーティションを作成する事ができます。

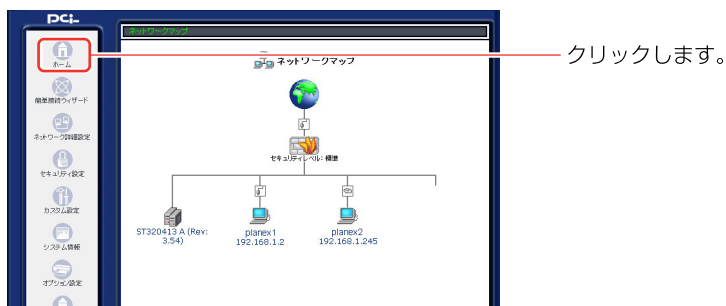
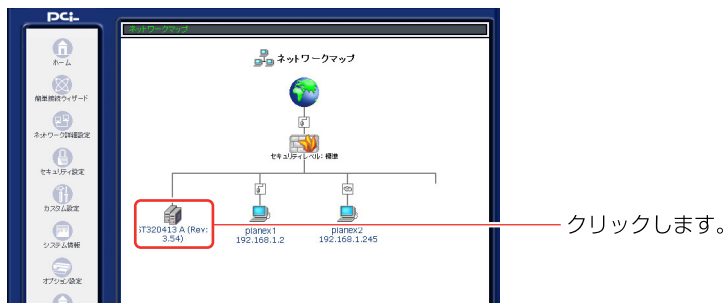
フォーマット済みのUSBストレージデバイスを接続する場合

本製品にフォーマット済みのハードディスクを接続するときは以下の点にご注意ください。

- **本製品が対応するハードディスクのフォーマット形式は、FAT、FAT32、EXT2です。3種類以外のフォーマット形式のハードディスクは利用できないため、コンピュータまたは本製品へ接続してフォーマットし直してください。また、FAT形式は認識できますがFAT形式のフォーマットはできません。本製品でフォーマットを行うときはFAT32またはEXT2になります。**

ここではNTFSでフォーマット済みのUSBストレージデバイスを本製品に接続してフォーマットするときの手順について説明します。

1 **2ページの手順でUSBストレージデバイスを本製品に接続します。**

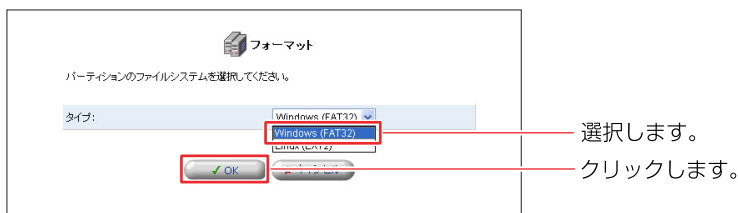
2 **サイドバーから[ホーム]アイコンをクリックします。**

3 **接続されたデバイスが[ネットワークマップ]画面に表示されます。デバイスのアイコンをクリックします。**

4　［ディスク情報］画面が表示されます。［パーティション］に接続されているハードディスクのパーティション情報が表示されます。NTFS等の本製品未対応のフォーマットでフォーマットされているパーティションは「共有名」が「未サポート」と表示されます。

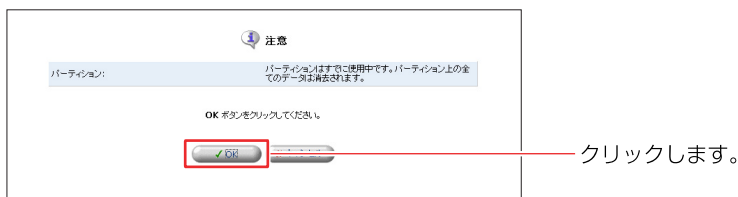
ご注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

5　「未サポート」と表示されているパーティションの「操作」欄から「修正」アイコンをクリックします。

6 ［ファイルシステムの選択］設定画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選び［次へ］ボタンをクリックします。

ご注意

本製品のフォーマット形式でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式でフォーマットをご使用ください。

7 「注意」画面が表示されます。フォーマットを実行するとパーティション内のデータはすべて消去されます。フォーマットを実行するときは［OK］をクリックします。

8　パーティションのフォーマットが開始され、[ディスク情報]画面に戻ります。パーティションの[ステータス]が[フォーマット中...]と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。[ステータス]が[使用可]になるまでお待ちください。

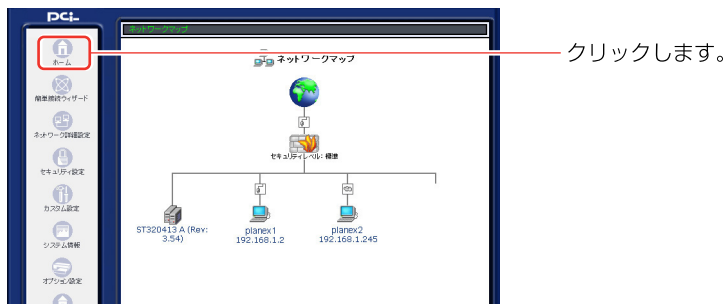
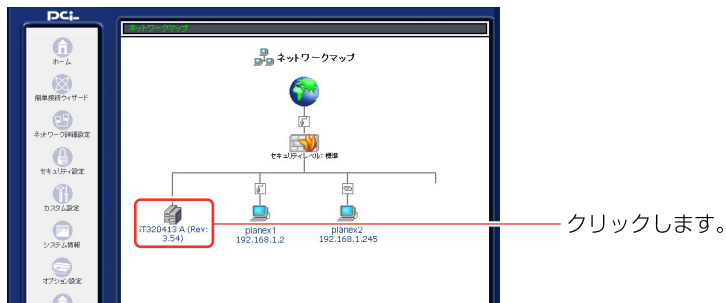
ご注意

[ステータス]が「フォーマット中...」のまま変わらないときは、しばらく待ってから[表示の更新]ボタンを押してください。

9　パーティションのステータスが「使用可」と表示されればフォーマットは完了です。パーティションはファイルサーバやWebサーバとして使用できるようになります。

作成済みのパーティションの削除

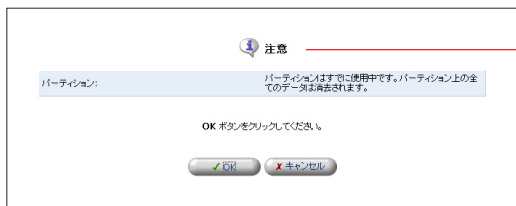
ここではUSBストレージデバイスにあるパーティションの削除手順を説明します。

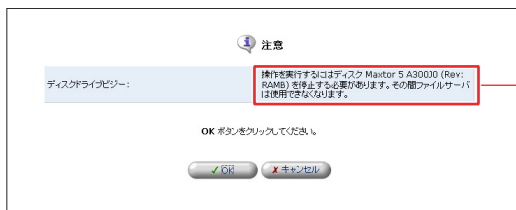
1　サイドバーから［ホーム］アイコンをクリックします。

2　接続されたデバイスが［ネットワークマップ］画面に表示されます。デバイスのアイコンをクリックします。

3 ［ディスク情報］画面が表示されます。削除したいパーティションの［操作］欄から［削除］アイコンをクリックします。

削除 をクリックします。

ご注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

4 ［注意］画面が表示されます。

［注意］画面が表示されます。

この時にパーティションにアクセスしているユーザがいるときは下記のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたときは、ユーザのアクセスが終了するのを待ってからパーティションの削除をしてください。

メッセージが表示されます。

5　パーティションの削除を続けるときは［OK］ボタンをクリックします。

ご注意

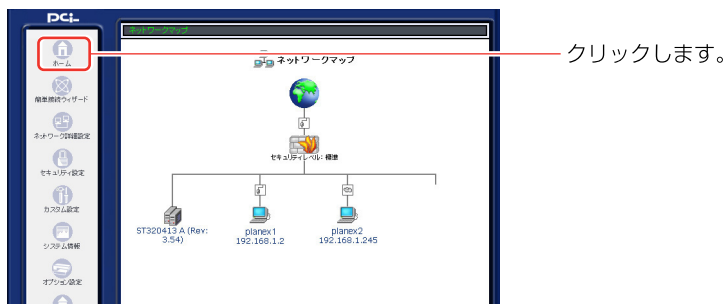
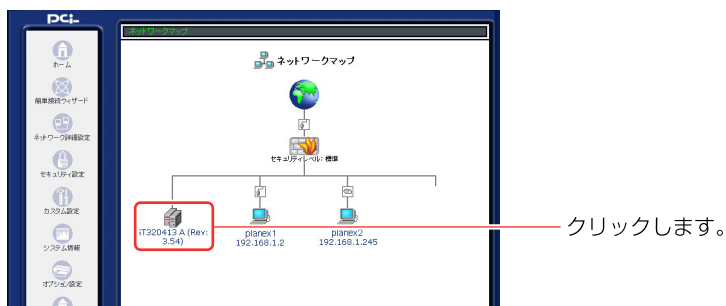
パーティションの削除を行うとパーティション内のデータはすべて失われます。パーティションの削除をするときは大事なデータが入っていないことを確認してください。

6　［ディスク情報］画面に戻ります。パーティションが削除されて、未使用の領域が増えている事を確認します。

未使用の領域が増えている事を確認します。

ハードディスクの取り外し

ここではUSBストレージデバイスを本製品から取り外すときの手順について説明します。本製品からUSBストレージデバイスを取り外すときは必ずアンマウントをしてから取り外します。

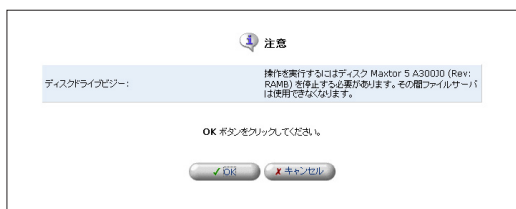
1 **サイドバーから[ホーム]アイコンをクリックします。**

2 **接続されたデバイスが[ネットワークマップ]画面に表示されます。デバイスのアイコンをクリックします。**

3 ［ディスク情報］画面が表示されます。［アンマウント］ボタンをクリックします。

! ご注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

4 ディスク情報の［ステータス］が「マウントされていません」になっていることを確認します。

! ご注意

［アンマウント］ボタンをクリックしたときに［注意］画面が表示されるときは、USB ストレージデバイスにユーザがアクセスしています。ユーザのアクセスを終了させてからアンマウントをしてください。ユーザのアクセスがないにもかかわらず［注意］が表示されるときはセッションが残っている場合があります。この場合は 10 分経過するとセッションが切れますので、10 分ほどお待ちになってからアンマウントしてください。

5 USB ストレージデバイスの電源を落とし、USB ケーブルを本製品から取り外します。

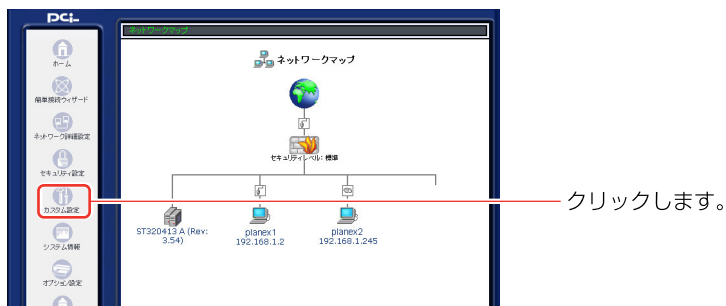
アクセス設定

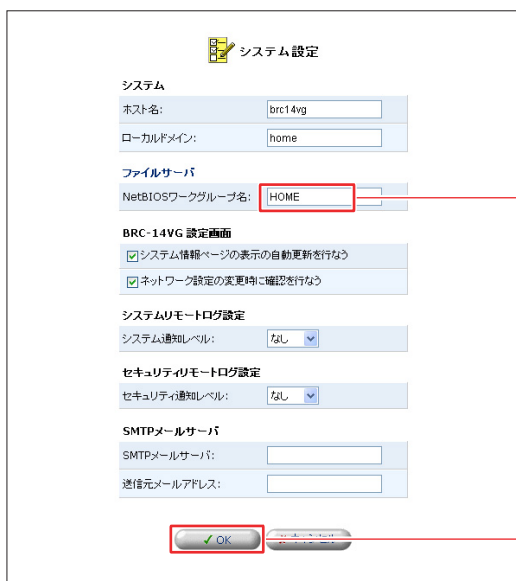
本製品にUSBストレージデバイスを接続した時点でファイルサーバとして動作します。作成したパーティションにアクセスするためにはワークグループの設定とユーザアカウントの作成が必要です。

ここではワークグループ名の設定とユーザアカウントの作成について説明します。

ワークグループ名の設定

コンピュータがファイルサーバにアクセスするためには、コンピュータと本製品のワークグループ名が同じ設定である必要があります。

1 **サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。**

2 [カスタム設定] 画面が表示されます。[システム設定] アイコンをクリックします。

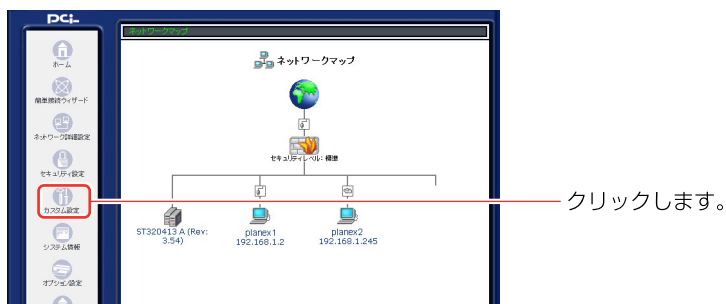
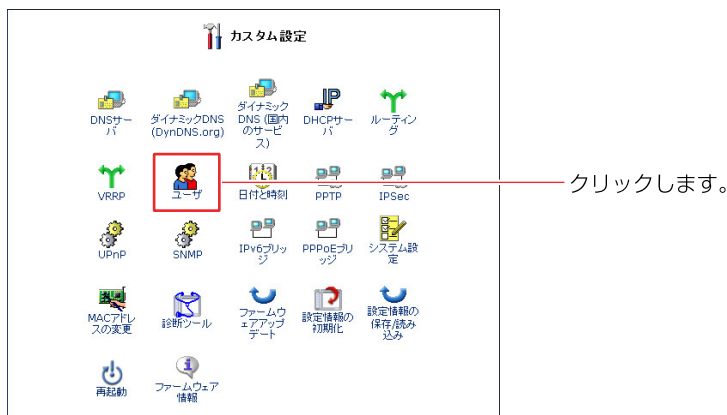
3 [ファイルサーバ] 欄から [NetBIOS ワークグループ名] にコンピュータに設定してあるワークグループ名を入力します。[OK] ボタンをクリックします

ご注意

ファイルサーバにアクセスするコンピュータのワークグループ名はすべて同じ設定にしてください。ワークグループ名が違う場合にはコンピュータのマイネットワークにファイルサーバが表示されません。

4　［カスタム設定］画面に戻ります。

続いてユーザアカウントの作成を行います。

ユーザアカウントの作成

1 サイドバーから [カスタム設定] アイコンをクリックします。

2 [カスタム設定] 画面が表示されます。[ユーザ] アイコンをクリックします。

3 [ユーザ] 画面が表示されます。[ユーザの追加] 欄から [追加] ボタンをクリックします。

4 [ユーザ設定] 画面が表示されます。フルネーム、ユーザ名、パスワードを入力します。

! ご注意

本製品へ追加するユーザ名とパスワードは、Windows® へログオンされているユーザ名とパスワードと同じ設定します。

5 [権限] からユーザのファイルサーバへのアクセス権限を選択します。

■ファイルサーバからのファイルの読み込み

この権限のチェックがオンになっているときは、ユーザはファイルサーバのデータを読み出す事ができます。

■ファイルサーバへのファイルの書き込み

この権限のチェックがオンになっているときは、ユーザはファイルサーバにデータを書き込む事ができます。またこの権限ではファイルサーバのデータの消去をする事もできます。

! ご注意

書き込みの権限があるユーザには必ず読み込みの権限もオンにしてください。読み込みの権限だけ、または読み込みと書き込みの両方の権限のどちらかに設定してください。

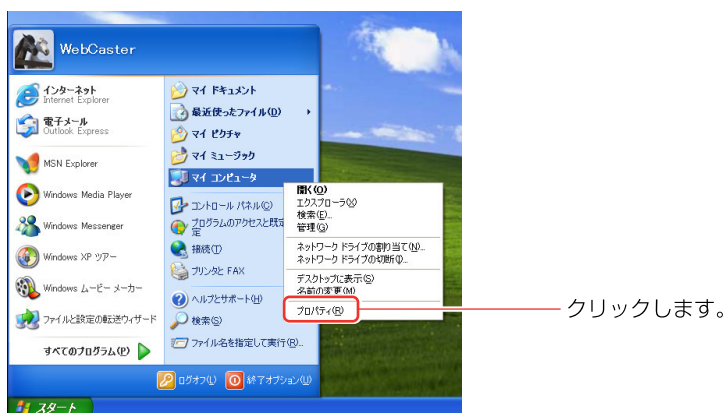
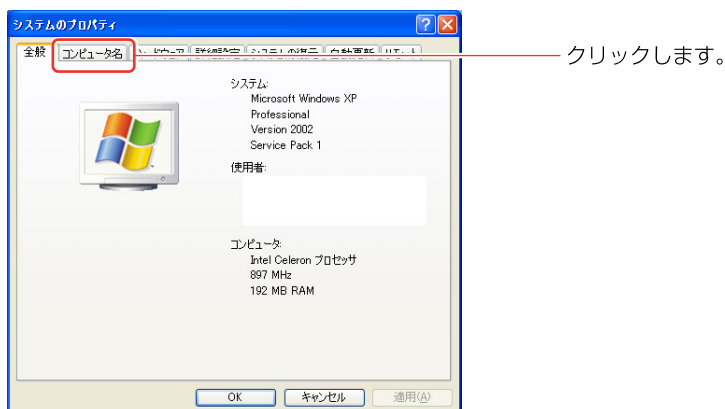
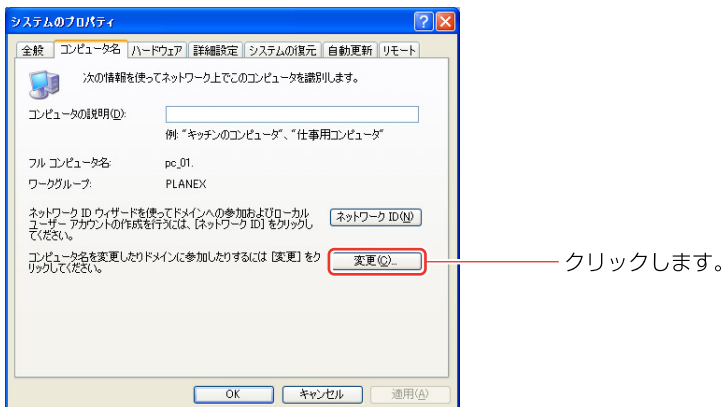
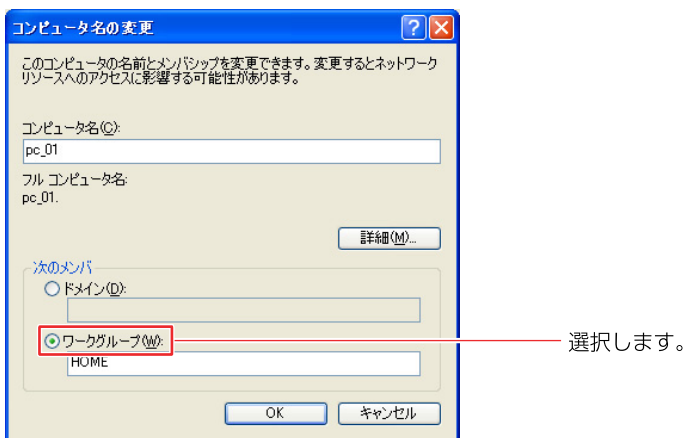
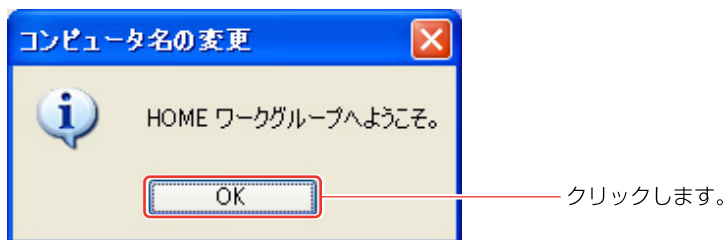
6 [OK] ボタンをクリックします。アカウントが作成され [ユーザ] 画面に戻ります。

ファイルサーバへのアクセス

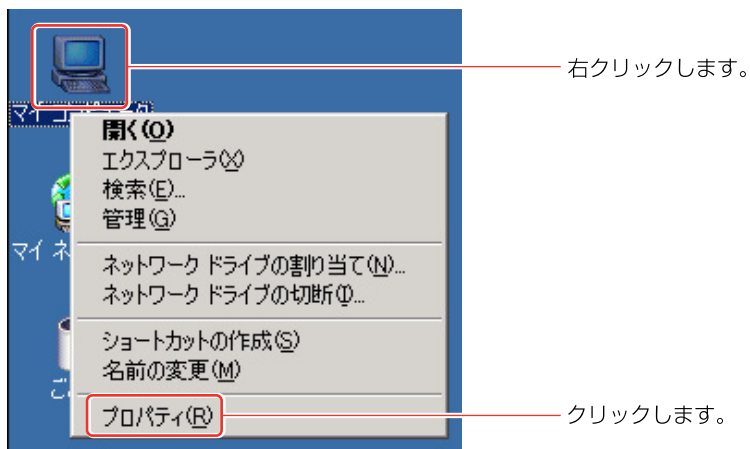
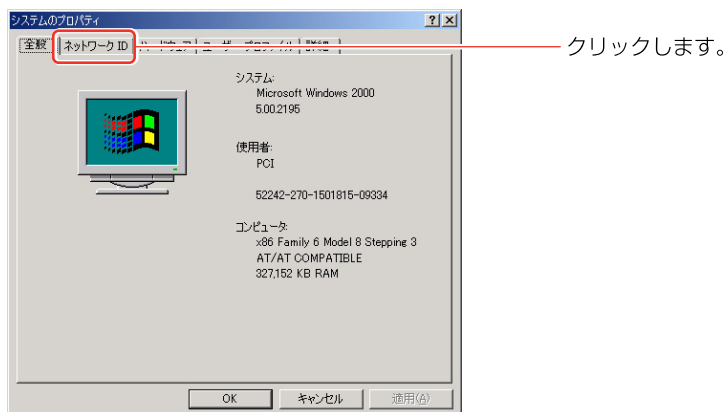
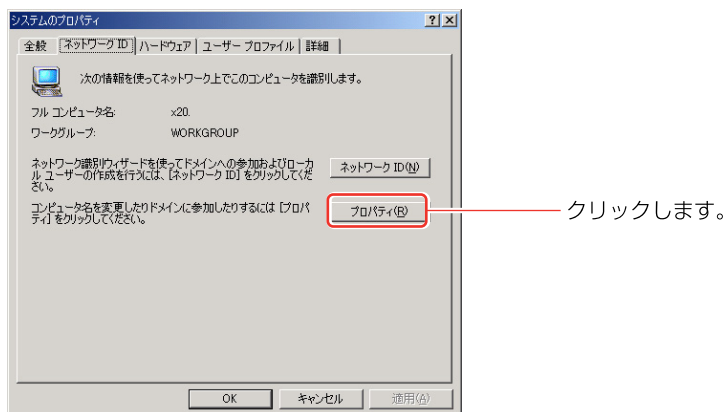
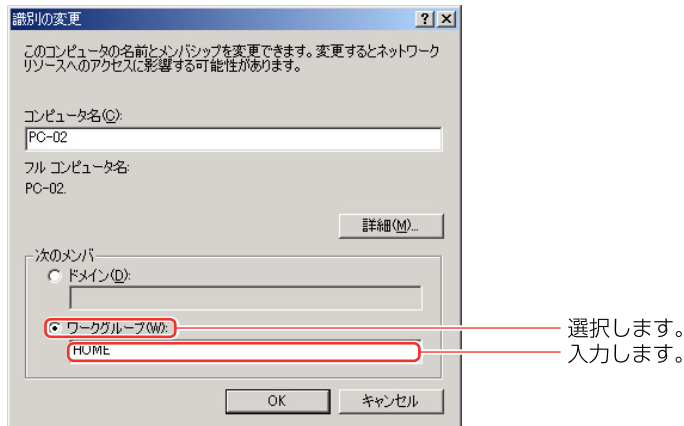
ここではファイルサーバへのアクセス手順について説明します。Windows® では本製品の［NetBIOS ワークグループ名］と Windows® のワークグループを同じ設定にします。

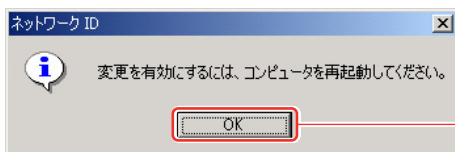
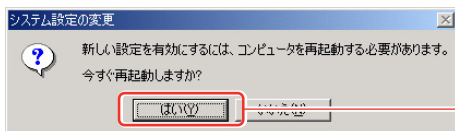
■ワークグループの設定

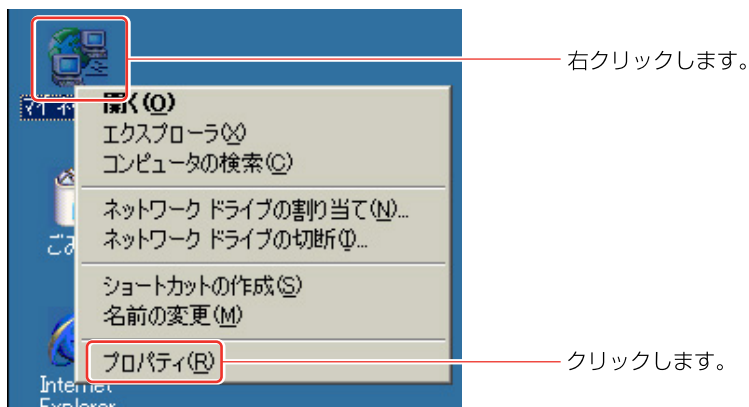
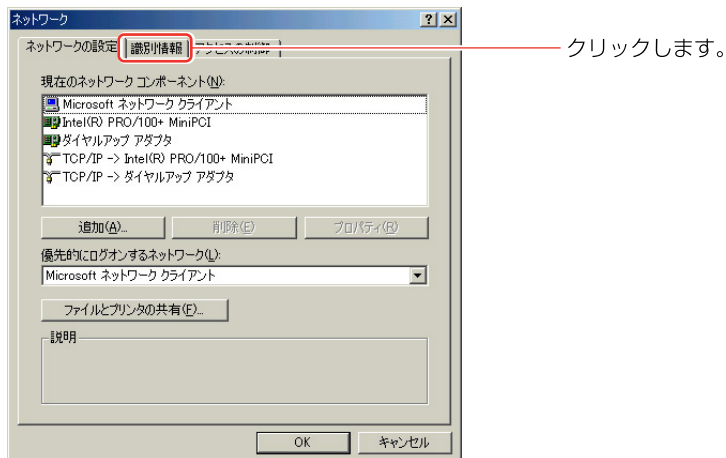
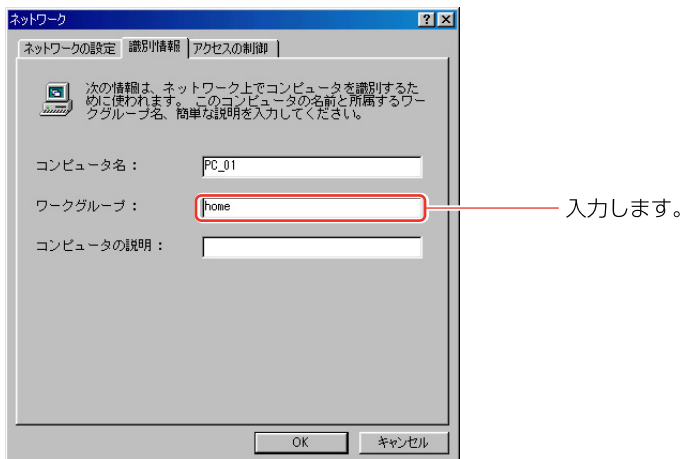
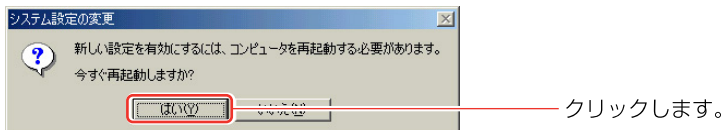
Windows® XP

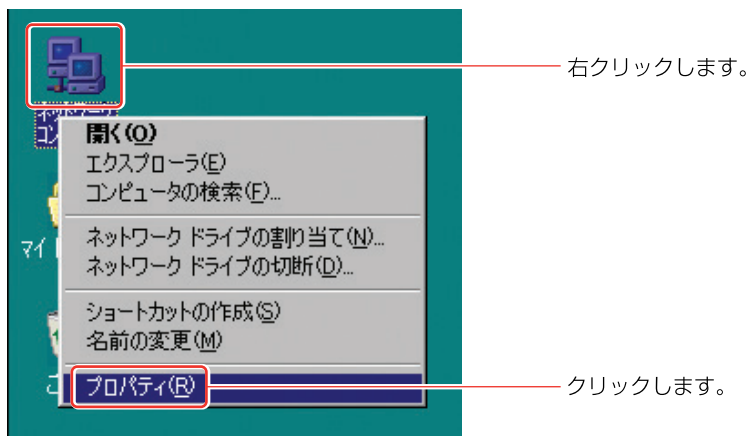
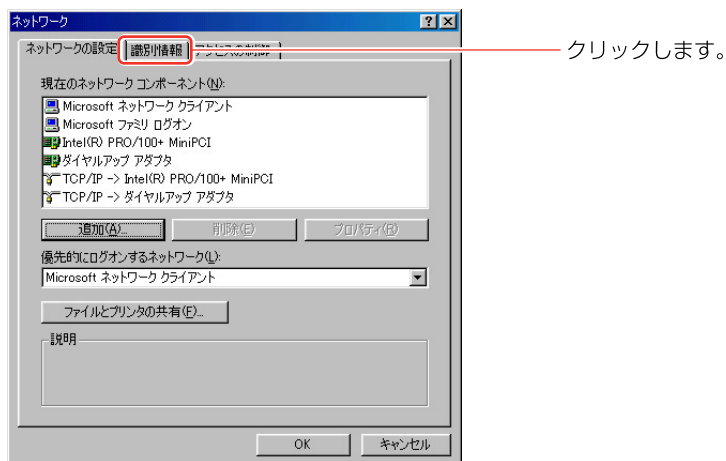
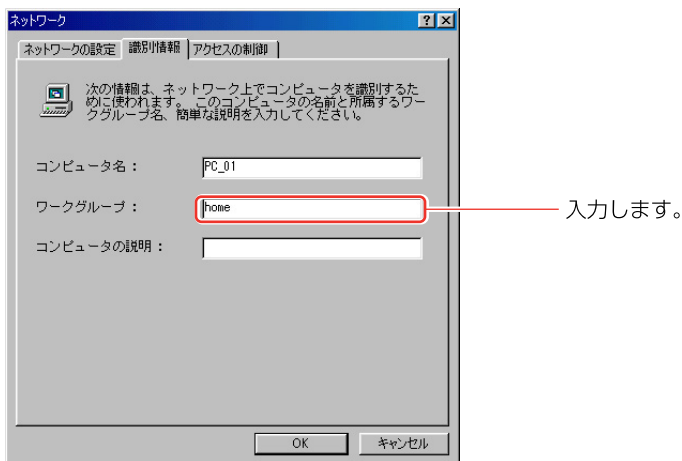
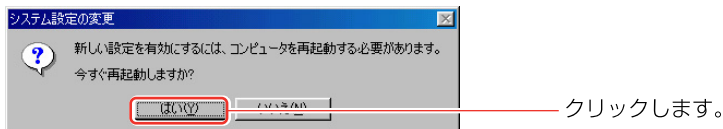
1 ［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

2 ［システムのプロパティ］ウィンドウが表示されます。［コンピュータ名］タブをクリックします。

3 ［コンピュータ名］タブから［変更］ボタンをクリックします。

4 ［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［次のメンバ］から［ワークグループ］を選択します。［ワークグループ］に本製品の［NetBIOS ワークグループ名］と同じ値を入力します。

5 ［OK］ボタンをクリックします。［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。

6 ［システムのプロパティ］ウィンドウに戻ります。［OK］ボタンをクリックします。再度、［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows®2000

1　デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

2　［システムのプロパティ］ウィンドウが表示されます。［ネットワークID］タブをクリックします。

3　[ネットワークID] タブから [プロパティ] ボタンをクリックします。

4　[識別の変更] ウィンドウが表示されます。[次のメンバ] から [ワークグループ] を選択します。[ワークグループ] に本製品の [NetBIOS ワークグループ名] と同じ値を入力します。

5　**[OK] ボタンをクリックします。[ネットワーク ID] ウィンドウが表示されるので [OK] ボタンをクリックします。**

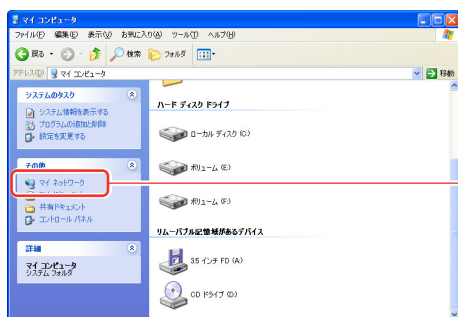
6　**再度、[ネットワーク ID] ウィンドウが表示されるので [OK] ボタンをクリックします。**

7　**[システムのプロパティ] ウィンドウに戻ります。[OK] ボタンをクリックします。[システム設定の変更] ウィンドウが表示されますので［OK］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。**

Windows® Me

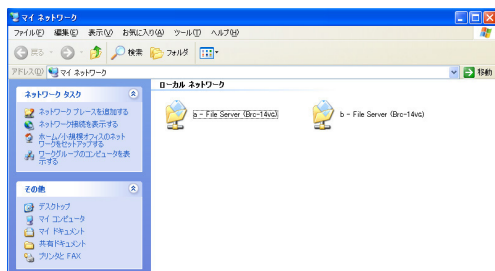
1 **デスクトップ上の[マイ ネットワーク]アイコンを右クリックします。表示されるメニューから[プロパティ]をクリックします。**

2 **[ネットワーク]ウィンドウが表示されます。[識別情報]タブをクリックします。**

3 ［識別情報］タブの［ワークグループ］に本製品の［NetBIOS ワークグループ名］と同じ値を入力します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。［システムの設定変更］ウィンドウが表示されます。［はい］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows® 98Second Edition

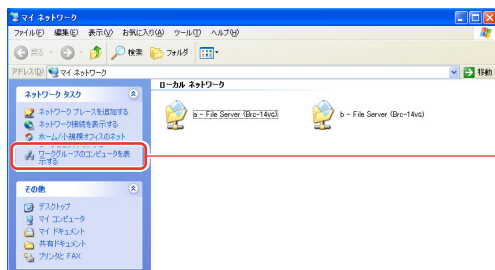
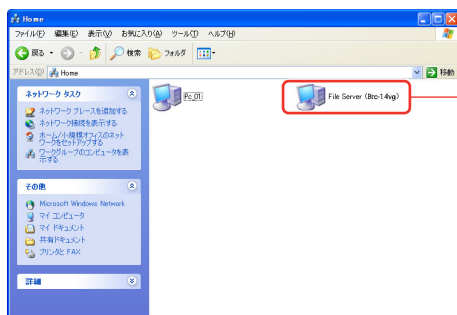
1　デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

2　［ネットワーク］ウィンドウが表示されます。［識別情報］タブをクリックします。

3 **[識別情報] タブの [ワークグループ] に本製品の [NetBIOS ワークグループ名] と同じ値を入力します。**

4 **[OK] ボタンをクリックします。[システムの設定変更] ウィンドウが表示されます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。**

■ファイルサーバへのアクセス

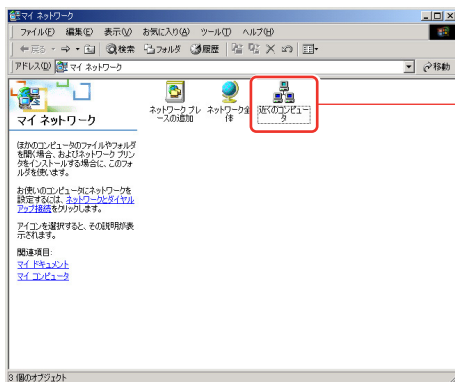
Windows® XP

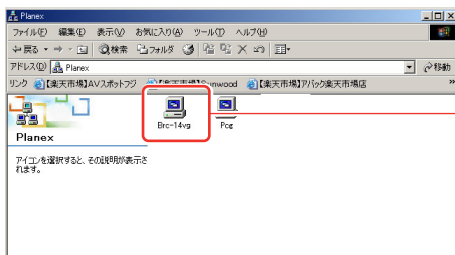
1　[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]アイコンをクリックします。

2　[マイ コンピュータ]ウィンドウが表示されます。ウィンドウ左側から[マイ ネットワーク]アイコンをクリックします。

3 ［マイ ネットワーク］ウィンドウが表示され、ファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されます。アクセスしたいパーティションのアイコンをダブルクリックします。

ご注意

ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたときは、本製品に登録してアクセス権限のあるユーザ名とパスワードを入力してください。
Windows でログオンしているユーザ名とパスワードを本製品へユーザの登録するとこの画面は表示されません。

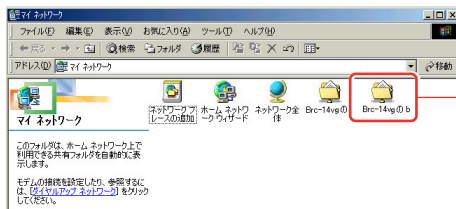
4 ［マイ ネットワーク］ウィンドウにファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されない場合は、［マイ ネットワーク］ウィンドウ左側の［ワークグループのコンピュータを表示する］をクリックします。

5 同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。［File Server］アイコンが本製品のファイルサーバです。［File Server］アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。

Windows® 2000

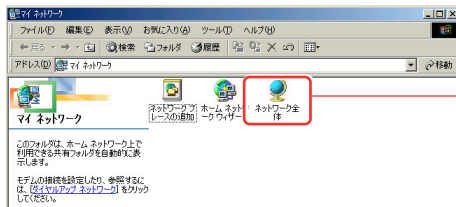
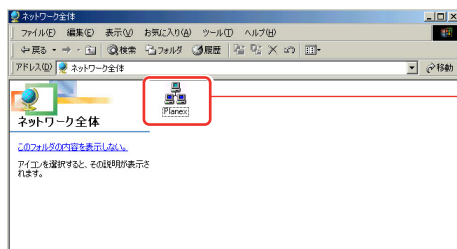
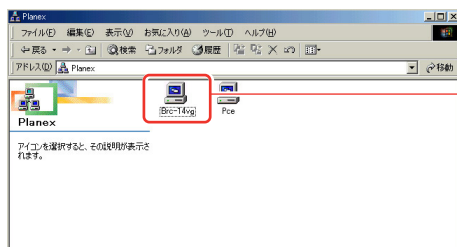
1 **デスクトップ上の [マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。[マイ ネットワーク] ウィンドウが表示されます。[近くのコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。**

2 **[近くのコンピュータ] ウィンドウが表示されます。コンピュータの一覧が表示されます。本製品のホスト名に設定した名前のアイコンが本製品のファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。**

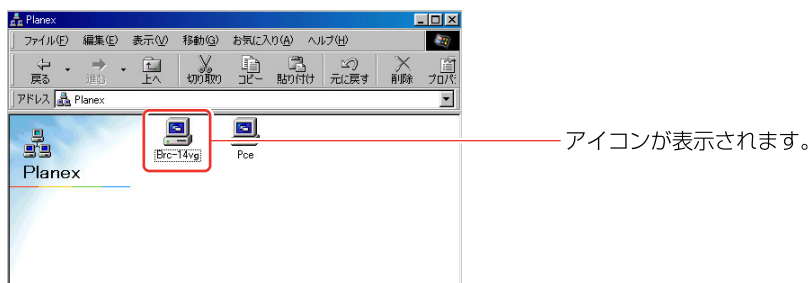
ご注意

ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたときは、本製品に登録してアクセス権限のあるユーザ名とパスワードを入力してください。
Windows でログオンしているユーザ名とパスワードを本製品へユーザの登録するとこの画面は表示されません。

Windows® Me

1 **デスクトップ上の［マイ　ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。［マイ ネットワーク］ウィンドウが表示され、ファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されます。アクセスしたいパーティションのアイコンをダブルクリックします。**

ご注意

ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたときは、本製品に登録してアクセス権限のあるユーザ名とパスワードを入力してください。
Windows でログオンしているユーザ名とパスワードを本製品へユーザの登録するとこの画面は表示されません。

2 **［マイ　ネットワーク］ウィンドウにファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されない場合は、［ネットワーク全体］アイコンをダブルクリックします。**

3　［ネットワーク全体］ウィンドウが表示されます。ワークグループと同じ名前のアイコンをダブルクリックします。

4　同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。本製品のホスト名に設定した名前のアイコンがBRC-14VGのファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。

Windows® 98Second Edition

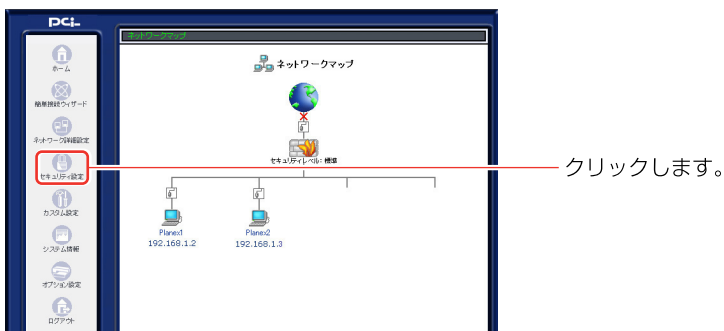
1 **デスクトップ上の[マイ ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。[ネットワークコンピュータ]ウィンドウが表示され、同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。本製品のホスト名に設定した名前のアイコンが本製品のファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。**

WEB サーバの設定

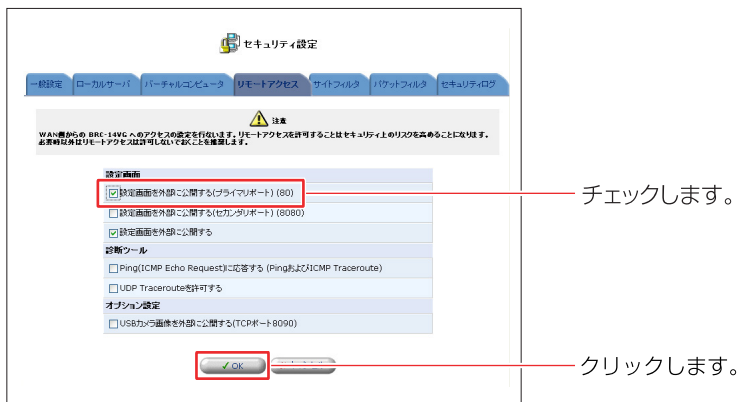
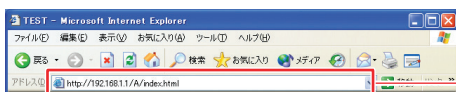
USB ストレージデバイスに作成した各パーティションは WEB サーバとしても使用できます。WEB サーバとして使用する場合は各パーティションに HTML ファイルをコピーすることでインターネット上に WEB ページを公開できるようになります。

! ご注意

WEB サーバを有効にすると、USB ストレージに保存されるファイルはすべてインターネットからアクセスが可能な状態になります。
WEB サーバ利用時は USB ストレージに保存するファイルは細心の注意を払い運用をしてください。

リモートアクセスの設定

1　サイドバーから［セキュリティ設定］アイコンをクリックします。

2 ［セキュリティ設定］画面が表示されます。［リモートアクセス］タブをクリックします。

3 ［リモートアクセス設定］画面が表示されます。［設定画面を外部に公開する（TCPポート80）］のチェックをオンにし、［OK］ボタンをクリックします。

4 **WEB サーバがインターネット上に公開されます。Web ブラウザでアクセスするときは、「http://本製品のアドレス/ドライブ番号(A～Z)/ファイル名」を WEB ブラウザのアドレスまたは場所に入力してください。**

! ご注意

[本製品のアドレス] は本製品の WAN 側の IP アドレスまたはダイナミック DNS に登録しているアドレス(ダイナミック DNS 使用時)を入力します。
[ドライブ番号(A～Z)] はアクセスしたいパーティションのドライブ番号です。
[ファイル名] は WEB ブラウザに表示させたい HTML ファイルです。パーティションにインデックスファイル(index.htm または index.html)がある場合はファイル名の入力を省略できます。